

**協働評価シート**

事業名		市政だより 市民サポート事業		実施年度	平成21年度
部 局		市民部	課 所	広報相談課	
団体等の名称		NPO法人 にはま市民企画ノック			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特 性や立場を 理解し合え たか	お互いの特 性や立場を 十分に認 識、尊重し て、事業を 実施するこ とができ たかどうか を評価。	団体等	A	事業実施について、共通認識を持って 取り組めた。
			市	A	
			相互協議 結 果		
対等	双方が対 等の立場 に立って いたか	対等な立場 で協議、事 業実施がで きたかどう かを評価。	団体等	A	対等の立場で相手の立場を尊重した取 り組みができた。
			市	A	
			相互協議 結 果		
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	自主的活動 を十分に活 かして事業 効果を増加 させたかど うかを評 価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議 結 果		
自立	市民の自 立化を阻 害しな かったか	依存体質が 助長される など、市民 の自立化が 阻害される ことがな かったかど うかを評 価。(新たな 自発的事業 展開につな がり自立化 が進んだ 場合はA評 価)	団体等	A	
			市	A	
			相互協議 結 果		
目的共有	双方が協 働の目的 を共有し たか	協働事業の 目的は十分 に共有して 事業実施が できたかど うかを評 価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議 結 果		

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B	
			市	A	
			相互協議結果	定期的に打ち合わせする時間をもう少し取るようにしたい。	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	取材団体には「協働事業」について説明の上、取材を行った。
			市	B	平成21年5月号で「ノポック」と協働で取り組むことを紹介し、取材した記事を掲載する際には（まちづくり協働オフィス）を明記している。
			相互協議結果	協働オフィスの関係団体以外へもより周知するようところがける。	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	市民から期待以上の反響があった。
			市	A	「ノポック」のネットワークを駆使し、多種多様な市民活動取材し紹介することができた。
			相互協議結果		
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたのか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	各団体から高い関心があった。
			市	B	
			相互協議結果	「協働」の分野を今後広げられないか、市民の活動を別の角度で紹介できないかなどについてお互いに検討していきたい。	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	市民団体の様々な活動を広く紹介することができ、各団体からの取材・掲載希望、掲載後の反響なども予想以上に大きかった。市民の活動がすでに大きな役割を果たしていることを広く伝える上で大きな成果があったと思われる。
市	事業初年度としては、特にトラブルもなく実施できた。22年度については、「ノポック」と今年以上に協議・打ち合わせを行い、紹介する記事の中身についてさらに充実させたい。また、「まちの話題」コーナー以外で協働できないか検討・協議を進めたい。
相互協議結果	「市政だより」については、以前から「市民の目線で市民が登場する紙面づくりを！」ということが課題の一つであるが、今回の事業実施によって、自主的にいろいろな活動に取り組んでいる市民（市民団体）を紹介することができ、広報相談課としても課題に取り組むことができ、市民（市民団体）からも高い関心と反響をいただいた。